

フランク エストラダル マニア出身の元カトリック教徒

:

明:米国海兵 の口 マ カトリック教徒がイスラ ムを します。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 男性](#)

より: フランク エストラダ

日9 Jun 2015

集日 28 Jun 2015



私の名はフランク エストラダといます。私は口 マ カトリック教徒として育てられました。私は非常に宗教 心で、いずれは 者として奉仕することを望んでいました。私は必ずしもそれに同意した ではありませんでしたが、教会の教えに っていました。私は人々をアッラ の元に近づけることを望み、改宗させるためのあらゆる 会を活用しました。

米国海兵 に勤 していた 、私は2度に渡り中 国を 察しました。私は短期 でアラブ人とイスラ ムに する憎 を抱くようになりました。任 を えた 、私はイラクのある会社でネットワーク管理者として き始めました。同僚にアフマドという人物がいましたが、彼の生い立ちという な理由だけで、私は彼を信 しませんでした。彼が私に して忍耐 くあってくれたことは、非常に幸 なことでした。

私が知だったことから、彼は少しずつ言者（神の慈悲と祝福あれ）とクルアーンについて教えてくれました。彼は言で教えてくれたのではなく、彼自身の行によって、ムスリムは邪な人ではないということを示してくれました。そして何よりも、彼はアッラの教えの真性を私に教えてくれました。

宅、私は真にイスラムを学び始めました。私はメサコミュニティカレッジで世界宗教のクラスを取りました。そのクラスはイスラムについて偏的な教え方をしていたものの、私をよりイスラムに近づけていました。そのクラスでアマルという女性と知り合いになりました。私たちはイスラムやカトリックについて何でもすることができました。彼女の論は理的でしたし、理にかなっていませんでした。

私はクルアーンをきちんと理解することのできるように、アラビアのクラスも取りました。未だになかなか上はしません。私はムスリムと思わしき人々とはんで会いましたが、彼らの言がその行と矛盾してはいないかを察しました。彼らは必ずと言って良いほど善的ではありませんでした。私はアリゾナ州テンピのモスクを覗き、そのムスリムやイマムと会いました。

私を最終的に改宗させたのは、シャハダでした。私をそれについて、自分自身の信条とどれ程マッチしているのか試してみました。まずはそれを十戒の第一の戒律と比べてみたところ、同一だということが分かりました。そのとき、私は悟ったのです。

カトリックは、多神教に他なりません。そうした感は、私を驚かせました。その時点で、私はアッラの法にいなながらも言者イエス（彼に平安あれ）を称することはできないと知ったのです。

私は妻と相見ました。控えめに言っても、彼女は心配していました。私たちは家族への影を何にも渡りませんでした。二人でモスクに行くことにし、そこでムハンマドという名の人物とすべし会がありました。彼は彼女の不安を拭きさせただけでなく、彼女はなんとその場で改宗を断じたのです。

ムスリムになるということは、正しい 断だったということに疑念はありません。私の友人や家族は、 を除き非常に 力的です。改宗 3ヶ月 、父は口を いてくれませんでした。妻の家族は 在に至るまで非常に非 力的です。しかし、将来的にアッラ が彼らの心を和らげてくれることは 信しています。

私は 々な人々を通して私に真理を示した下さったアッラ に感 しています。そして、かれが私に真理を理解することのできる知性を与えてくださったことにも同 に感 しなければなりません。そして何よりも、私と共に真理へと心を いてくれた、 すべき妻を与えてくださったことにも、アッラ に感 します。

そしてここに を置きます。アッラ 以外に崇 に する神はなく、ムハンマドはその 言者なり。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/2719>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。